

「移住・定住の取組」に関する政策提言のための 中間報告書（概要版）

大分市議会議員政策研究会では、これまでに様々な政策的条例案の策定や市長に対する政策提言を行ってきました。本市が人口減少や少子高齢化の進展などによる地域の担い手不足等の課題に直面していることを勘案する中、令和5年7月に、「移住・定住の取組」について新たな政策提言を目指すこととしました。課題の背景にある人口減少社会における様々な取組も含め、関係者と意見交換を行うなど調査研究を進める中、6つの柱を立て、提言案を作成しました。

提言案の6つの柱は、以下のとおりです。

（１）本市の魅力や魅力発信に関すること

- ①本市の魅力の再発見・再認識について
- ②新たな魅力づくりについて
- ③工夫した情報発信について

（２）仕事に関すること

- ①就労に関するサポートについて
- ②本市産業の担い手確保について

（３）住居に関すること

- ①住宅に関する支援について
- ②空き家の活用について

（４）Ｕターン施策に関すること

- ①Ｕターン促進について
- ②ふるさとへの愛着につながる取組について

（５）安心して移住できる環境づくりに関すること

- ①移住前の情報収集について
- ②移住後のつながりについて

（６）横断的な取組に関すること

- ①移住者のニーズ把握などについて
- ②地域との多様な関わりや特色に応じた対策について

本研究会は、人口減少や少子高齢化の進展などの本市の現状を踏まえ、全国的に地方移住への機運が高まっていることから、移住・定住を促進することにより、新しい力と協働しながら地域の活性化を図り、皆が互いに支えあい、持続的に発展する大分市を目指すため、様々な調査研究を進めています。

今回の中間報告は、上記6つの観点から必要な提言をするものであり、引き続き、広く意見を伺いながら、市民目線に立った調査研究を行い、市長への政策提言を目指します。